

地域密着型金融の取組み

(平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月)

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

■経営改善支援体制の強化

(1) 目的

地元中小・零細企業の衰退は地域経済の活性化の源を失うことになるため、当金庫では地域の中小・零細企業に対する経営改善支援の体制強化を図っております。

(2) 取組み内容と成果

①経営改善支援への取組み

審査二課「経営サポートチーム」を設置し、現在中小企業診断士4名を配置しております。営業店とのヒアリングの実施等により支援活動に関する行動目標を設定の上、経営者との話し合いから企業の抱える課題、問題点を把握し、改善策の立案、経営改善計画の策定支援を行っています。

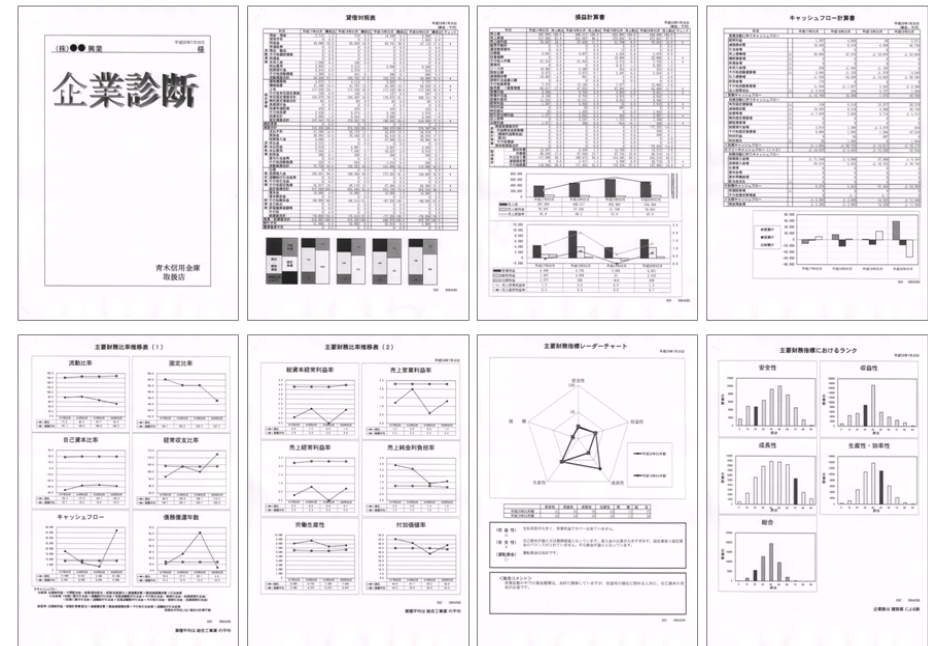
②人材の育成

少人数による、より実践的な営業店職員に対する経営改善計画書作成研修（2回延べ27人）を行いました。第1回については、本部担当部署による講義、第2回については、中小企業再生支援全国本部より講師の方をお招きして開催し、営業店職員の意識と能力の向上を図りました。

③提供サービスの充実

法人取引先の貸借対照表・損益計算書の分析資料をフィードバックし、収益増強のための改善策・財務内容改善のためのポイントをお伝えする「企業診断サービス」を実施しております。平成26年度は813社のご利用がありました。

【企業診断の報告書イメージ】



④外部支援機関との積極的な連携等

(イ) 中小企業再生支援協議会の活用

取引先企業の再生計画を立てる際、取引先企業のビジネスモデル自体の見直しが必要であったり、他の金融機関との調整が必要である場合があります。いずれも当金庫単独では対応が困難である場合が多く、取引先企業の業種、企業規模（従業員数・売上高）、収益改善見込み、財務内容、取引内容（主要行・他行取引状況）等を総合的に検討の上、中小企業再生支援協議会の機能を活用し、同協議会との連携により中身の濃い支援活動を行っています。

(ロ) 経営革新等支援機関として認定

国から中小企業経営力強化支援法に基づく経営革新等支援機関として認定を受けております。各営業店を窓口として創業支援、経営状況の分析、事業計画の策定支援・実行支援、事業承継支援、M&A 支援、海外展開支援、金融支援および財務改善支援に関するご相談をお受けしております。

i. 認定支援機関による経営改善計画策定支援事業

外部専門家と連携して、経営改善計画書の策定支援およびモニタリングを行っております。平成 26 年度は 12 件支援を行いました。

ii. 補助金申請支援について

○ものづくり・商業・サービス補助金

中小企業・小規模事業者が実施する試作品・新商品・新サービスの開発や設備投資等に要する経費の補助金申請に際して、事業計画策定・実行の支援をしました。平成 26 年度は申込書受付 14 件、内採択 8 件でした。

○創業補助金、創業・第二創業促進補助金

起業・創業を促進し、地域の新たな需要の創造や雇用の創出を図るための補助金の申請に際して、事業計画の策定・実行を支援しました。平成 26 年度は申込書受付 6 件、内採択 1 件でした。

(ハ) 彩の国中小企業支援ネットワーク

「彩の国中小企業支援ネットワーク」の会員として「経営サポート会議」を活用しております。当会議は信用保証協会が主催する会議であり、信用保証協会付融資を含む貸出金の条件変更を行っている取引先に対して金融調整を行います。平成 26 年度は 13 件の債権者調整に取り組みました。

(ニ) さいたま市経営改善プログラム

さいたま市及びさいたま市産業創造財団と連携して、さいたま市内の中小企業者の経営改善支援を行っております。平成 26 年度は 11 件支援を行いました。

(ホ) 中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業

中小企業支援ポータルサイト「ミラサポ」をとおして、専門家の派遣申請を支援しております。平成 26 年度は 20 回でした。

(ヘ) 経営相談への対応

取引先企業のより専門的な経営相談に関しては、中小企業基盤整備機構、信金中央金庫、商工会議所等の外部支援機関との連携により経営課題の解決に努めています。

■各種相談会の実施

(1) 目的

お客さまが直面する問題、課題について個別に対応する機会を設け、皆さまのニーズや期待にお応えしたいと考えております。

(2) 取組み内容

①年金相談会の実施

専門知識を持つ金庫職員による「年金相談サービス」を営業店単位で年1回行っております。年金のもらい忘れ、新規受給手続きなど年金に関するご相談にお応えしました。

②税務相談会の実施

税理士による「税務相談サービス」を毎月2回行っております。相続税、贈与税、所得税等、税金に関する諸事項についてのご相談にお応えしました。

③相続関連業務相談会の実施

弁護士、税理士の資格を持つ(株)朝日信託社員による「相続関連業務相談会」を行っております。相続や事業承継についてのご相談にお応えしました。

(3) 成果

平成26年度は以下のとおり開催し、ご相談をお受けしました。

各種相談会	回数	件数
年金相談会	36回	124件
税務相談会	24回	68件
相続関連業務相談会	4回	16件

■人材の育成強化と目利き機能を取り込んだ審査および営業体制の構築

(1) 目的

融資担当者には、取引先の事業価値を見極め、審査する目利き能力や、スムーズな実行に不可欠な貸出稟議書作成ノウハウ等のスキルアップが必要であることから、人材の育成を図ると共に、目利き機能を取り込んだ審査および営業体制の構築に取り組んでいます。

(2) 取組み内容

①自己査定、経営改善計画書作成、融資管理・回収、住宅ローン、融資担当者等に関する業務スキルアップのため、集合研修を実施しました。(7講座・延べ128人)

②融資業務に関する基本的な事項の習得を目的としたサタデースクールを実施しました。(1回・32人)

③外部派遣研修として、埼玉県信用保証協会実務研修、目利き力実践講座に職員を派遣しました。(2講座・延べ30人)

(3) 成果

取引先企業の実態把握や迅速・的確な融資審査能力の育成に役立てました。

2. 地域の面的再生への積極的な参画

■地域の活性化

(1) 目的

当金庫がコンプライアンスの基本方針として制定している「青木信用金庫行動綱領」においては「地域社会が金庫の存続基盤であることを自覚し、積極的に社会貢献活動に取り組む」と定めております。これを具体的に実践することにより、地域の皆さまのご期待に応え、地域経済全体の活性化に寄与するとともに、金庫の経営基盤の維持、拡大を図ることができると考えております。

(2) 取組み内容

- ①第 33 回川口マラソン大会への協賛（平成 26 年 12 月 7 日）
- ②地域安全マップの作製支援（平成 26 年 9 月 19 日）
- ③大学生インターンシップの実施（平成 27 年 2 月 19 日～2 月 25 日）

(3) 成果

「川口マラソン大会」では、約 7,500 人のランナーが参加し、活気あふれる大会となりました。

川口市立上青木小学校に対して「地域安全マップ」の作製支援を行い、子供たちの防犯意識を身につける活動に協力しました。

「インターンシップ」は、大東文化大学、駒澤大学の 3 年生計 10 名を受け入れ、勤労観・職業観の育成、「金融経済教育」という点で貢献できました。

【川口マラソン大会の様子】



【地域安全マップの作製支援の様子】



【大学生インターンシップの様子】



■環境保全活動

(1) 目的

地域の将来的な活性化のためには、環境づくりが重要であることから、環境保全活動について、金融商品を通じて積極的に取り組んでいます。

(2) 取組み内容

自動車購入資金を利用される方のうち、エコカーをご購入されるお客さまには別途適用金利を設けました。またリフォームローンを利用される方のうち、太陽光発電システム等の設備をされるお客さまは別途の適用金利とし、CO₂削減を推進しました。

①金利（平成 27 年 3 月 31 日現在）

商品名	適用金利（特別金利）
カーライフプラン	2.50%
カーライフプラン・エコ	1.90%
リフォームローン	2.90%
リフォームローン・エコ	1.90%

②適用条件

(イ) カーライフプラン・エコ～対象となるエコカー（新車）

電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、低燃費かつ低排出ガス認定自動車等、自動車重量税・自動車取得税が減免される自家用車（新車）

(ロ) リフォームローン・エコ～対象となるエコ関連設備

太陽光発電システム、潜熱回収型ガス給湯器、潜熱回収型石油給湯器、CO₂冷媒ヒートポンプ給湯器等

(3) 成果

【平成 26 年度実績】

商品名	実行件数	実行額
カーライフプラン・エコ	89 件	203 百万円
リフォームローン・エコ	10 件	29 百万円

■ 地域企業の発展支援

(1) 目的

地域の企業と一緒に、金庫も成長していきたいと考えております。地域金融機関として地域企業の発展、事業拡大に向けた取り組みを、様々な側面からサポートしております。

(2) 取組み内容

- ①芝浦工業大学が主催する「産学官連携研究交流会」（平成 27 年 3 月 16 日）への後援を行い、金庫職員 17 名が参加いたしました。
- ②あおしんビジネスクラブ「第 21 回経済講演会」（平成 26 年 10 月 23 日）、「新春経済セミナー」（平成 27 年 2 月 5 日）を開催しました。
- ③「彩の国ビジネスアリーナ 2015」（平成 27 年 1 月 28 日、29 日）を開催しました。
- ④大手企業の OB 等で、豊富な経験を持つ「新現役」の方々と地域の企業のマッチングの機会として、「新現役交流会」（平成 26 年 11 月 18 日）を開催しました。

(3) 成果

「産学官連携研究交流会」では、大学の研究室が持つ多様な研究分野から得た新製品の開発のためのヒントやノウハウを、活かしていただく機会になりました。

「経済講演会」では、医学博士・管理栄養士の本多京子氏の講演が行われ、好評を得ることができました。また「新春経済セミナー」では関東信越税理士会西川口支部の風岡秀治氏、池田陽介氏による講演が行われ、地元税理士会との連携を図ることができました。

「彩の国ビジネスアリーナ 2015」では、新たな取引先や商品・新技術等の発見の機会として活用していただき、金庫のお取引先 20 社が出展しました。

「新現役交流会」においては、お取引先 21 社と新現役の方 77 名が一次面接を行い、内 20 社が二次面接を実施されました。

【新春経済セミナー】



【彩の国ビジネスアリーナ 2015】



【産学官連携研究交流会】



【第 21 回経済講演会】



【新現役交流会】



3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

■ディスクロージャー誌、ホームページからの情報発信

(1) 目的

単なる金融仲介機能を果たすだけでなく、コンサルティング機能を発揮するとともに、地域社会への貢献活動に取り組んでいることを、地域と地域の皆さまに知っていただくことが重要であることから、常に情報発信に努めております。

(2) 取組み内容

「あおしんレポート」(法定および半期開示ディスクロージャー誌)をそれぞれ発行する一方、ホームページをタイムリーに更新し、金庫の取組みについてお知らせいたしました。

(3) 成果

金庫の地域金融機関としての取組みについて、より多くの方々に知っていただく機会ができました。

■「あおしん景況レポート」の刊行

(1) 目的

川口市を中心とした最近の中小企業の動向を把握するため、調査し、取りまとめを行っております。

(2) 取組み内容

平成26年度も3ヶ月ごと、年4回刊行しました。

(3) 成果

地域の景気動向や経営上の問題点等に関する情報をご提供することができました。

【ディスクロージャー誌のイメージ】 【あおしんホームページのイメージ】



【あおしん景況レポート】

